

## 第 1438 回例会報告

平成27年12月3日(木)小雨

### 会長挨拶

会長 御子柴文夫

#### 先人の知恵に学ぼう。

仕事で山梨県北杜市長坂によく出かけますが小荒間というJR小海線甲斐小泉駅の近くに農業用水として使用されている湧水・湧き水があります。約500年前に水争いを収めるため 武田信玄が山肌から湧き出る水を1本にまとめ 置き石で湧水を3つに分割して下流の3部落に農業用水を配水したとの言い伝えから3分の1湧水と呼ばれております。

整備されて公園となっており景観も良く道の駅の販売所やそば打ち道場もあります。1度は訪れる価値のある場所です。

私も少々農業をやっており農業用水を田畑まで引水するセギの役員を順番で努めて水利権を守っており 水の大切さを痛感しております。

私の関係している農業用水のセギは五平セギと尼堂セギと言います。セギ維持のため毎年季節の出払い作業があり出席しないと出不足金を徴収されます。各回2000円ですが1年間出席しないと8000円になります。さらにセギ負担金が田畑の面積に応じて徴収されます。水は要らないと返上すれば負担金は無くなりますが先祖が守って来たセギを私の代で止めてよいか思案しております。

五平セギは下諏訪町の砥川から分水し 山を300mほどくりぬいてトンネルで下諏訪町北小学校の脇に出て 岩村先生の家近くを通り 長地小学校脇・尼堂脇・イチヤママート脇を通過して諏

訪湖に至ります。

10年ほど前は200軒ほどいたセギ関係者は現在120軒ほどに減っており近い将来さらに減少が見込まれます。川は常に砂や小石を運んでおり油断すると埋まってしまう。そのためにセギをさらう作業により維持しておりますが関わる人数の減少により不可能になりつつあります。行政にすべてをお願いしないと維持できない状態に追い込まれております。現代は流れる水の価値を忘れているようです。

以前 下諏訪町北小学校PTAは魚を飼って子供の情操教育に役立てようと企画し、五平セギから水を引いて池を造りました。今でも池はあります。水利権では問題がありますが子供のための事業につき問題とはしませんでした。ただ残念なことにセギ関係者に相談しなかったため 水の流れと共に土砂の流れが止まり 砂が堆積してトンネルを埋めてしまいました。その結果 下諏訪町は数百万円を出費して改修工事を実施いたしました。水の流れを完全に止めない限り土砂は通過してそのような費用は発生しなかったのですが・・・セギの維持に関わっていた人が1人も関わらなかった事が大きな出費を引き起こしており悔やまれます。水を守り利用している水利権のことを知っている人がいなかったことも不幸なことでした。

私たちは先人が長年かけて自然と対処してきた知恵と経験に学んで対応していく必要を改めて感じます。

本日 講師にお招きした宮坂様は私と同じく当会小林会員の平福寺を菩提寺とする檀家です。そして宮坂様は宮大工を先祖に持つ家系に育っ

#### 頃出席報告

会員数	40名
出席対象	38名
出席者数	29名
出席率	76.3%
前回修正	94.7%

#### ■ニコニコ BOX

5名	8,000円
累計	261,000円
目標額	60万円
達成率	43.5%

#### ■今週のことば

宮坂正博さん、本日はよろしくお願ひいたします。  
職業奉仕委員長 蒲地 整志



2015-2016年度 国際ロータリーテーマ  
世界へのプレゼントになろう  
Be a gift to the world

た建築設計士です。価値ある楽しいお話をお聞きできると期待している事をお伝えいたします。

## 第 1438 回例会

### ◇幹事会報告◇

1) 岡谷エコーロータリークラブより最後の紙ベースのウィークリーが届きました。

### 外部講師卓話例会

諏訪総合設計代表・岡谷 RC 会員  
宮坂正博 様  
担当 職業奉仕委員会

### 委員会報告

#### 【社会奉仕委員会】

諏訪湖浄化推進連絡協議会(湖浄連)から講演会に参加してください。12月9日午後6時。下諏訪図書館です

#### 【プログラム委員会】

クリスマス夜間例会の出欠席連絡をお願いいたします。

本日は、岡谷 RC の宮坂正博会員をお招きし今話題の横浜ビル傾斜マンションのお話をお聞きました。ありがとうございました。

### 傾斜マンション(杭データ偽装・不同沈下)

#### 拡大根固め工法とは

打つのでなく穴を掘りセメントミルクの球根の中に埋込み、軽打してレベルをそろえる。旭化成DY NAWING(ダイナウイング)

#### 杭の工事

昔の杭は直接打撃して1回あたりの沈下量をもとに打ち止めした。深くなるとヤットコという部品があつて深さ2.5m位まで対応出来た。高止まりすると切りそろえる。深くなれば基礎を大きくして対応

昔の杭は建物の重さだけを負担していた。今は地震時の水平力を地盤の横方向係数等で計算して負担する。既成のコンクリート杭(ピアノ線でストレスをかけている)は原則切断不可

振動や騒音で直接打撃は出来なくなった。過渡期にはプレオーガ最終打撃という工法もあつた

現場築造杭は、現場で太径の孔掘り鉄筋を落とし込んでコンクリート打設。アースドリル・ベントは工期や高価で衰退。施工性・工期・経済性で高支持力が得られる拡大根固めが主流となるが、設計時には特許が絡み工法を確定して設計する。他の工法と互換性・汎用性はない

設計前にボーリングをする。杭着手時に何本か試験杭をして支持層を確認する。支持地盤へのオーガの回転抵抗で確認出来る。ところがボーリング調査は1mあたり4~5万円かかる。

杭長が変わると構造計算のやり直し、一般的には軽微な変更は確認の事務処理のみ。大規模に変わると建築確認の取り直し(適合性判定)。2ヶ月位かかる。その上、杭は注文生産でオーダーして

### 会員表彰

西澤会員が「会員増強による功績」により表彰され表彰状が届きましたので伝達いたしました。

おめでとうございます



### 本日の3分間スピーチ

本日は丸山美樹彦会員の「危険度ドラックの話」でした

意外と中高年に浸透しているという話に驚きました。その理由を聞くと納得しました。恐ろしいことです。



### Happy birthday



今月の誕生日は今井高志会員でした

から30日はかかる

工事着手時点で杭長不足が判明。その後の工程の杭長はどうやって調べるか。全ての杭長が確定できないと計算も注文も出来ない

### 拡大根固め工法は

杭長の変更は基本的に出来ない、しないという工法であることが重要。

杭はセメント量の改ざんは論外だが、基本的に設計図とおりに出来ている。データの改ざんといういけないことをしたがそのことが一番悪いわけではない。一般的に何本かの試験杭で深さが確認できればデータは省略して問題はない

### LaLa横浜の問題

地盤調査不足(地盤悪いという認識の欠如)。ボーリングは多めに実施したと言うが、横浜の起伏のある土丹層という問題のある地質で工法の選択を誤った。長さの変化に容易についてゆける現場築造杭を選択するべきであった

2006年から既に9年経過。マンション長さ6m×9sp=54m。54mで2.4cmの不同沈下は0.4/1000で許容範囲。品確法で瑕疵のある傾斜とされるのは3/1000=16.2cm/54mとなる

全部の階で目違いがあるのか、クラックや異常はないのか詳細な状況が不明。長手9スパン張間3スパン。1sp×5階 1sp×7階 1sp×9階 1sp×9階 1sp×10階 5sp×11階。沈下している方へ向かって建物は重くなってゆく構造になっている。

東京には強固な東京礫層が地下40～70mに存在。都下は問題ないが横浜は傾斜のある土丹層・丘陵があり東京都は違う

諏訪湖周辺でも場所にもよるが敷地単位での極端な支持地盤の変化はない。ただし諏訪実業高校の敷地内では大きな地下の段差が確認されている

一般的に強固な支持層が歴然と存在することはない。先端をどこにするか試行錯誤し支持力算定式には1/3という安全率がかかる

諏訪郡下のマンションでは1棟で1箇所のボーリング調査が大半・・・どうかと思う

### 設計・監理・施工の問題点

三井住友建設一括…………形骸化した体制・責任の所在

データの偽装とマンションの傾斜は全く別の問題だという認識が必要

(いただいた資料を基に再編集しました。)